

伝 統 の 現 在

～ 日本の原郷の面影から ～

日時 2013年7月13日(土) 開場 17時30分 開演 18時～ 会場 天海珈琲 入場料 2,000円
お問い合わせ TEL/FAX 0133-77-3008 携帯 090-7056-7325 (要予約)

第1部 古武術演武 直心影流

清水 刀秀 克史



古武術研究会 北刀会 主催

夢壮秀元流居合術の宗家として、総合武術を求め修行している。直心影流薙刀術はじめ、日置流備州竹林派弓術、英信流抜刀術、柳心介胃流柔術を学んでいる。他に 剣術、短刀術、小太刀、拳術、鎖鎌、二丁鎌、槍、杖水術、手裏剣、鉄扇、鎖、棒等 武芸十八般を研究している。

古武術は、日本が世界に誇る身体及び精神文化の精華の一つです。

武術は器。大切なのはそこに眼る理合です。理合を精神に昇華させ人として本来あるべき姿に至る道が古武術です。

第2部 雅楽と舞

多度雅楽会

多度雅楽会は、館主である田中松緑さんの多度大社楽人30年の経験をもとに、現在では市民文化活動として、雅楽の芸術美を後世に伝える高い理念をもって活動しています。また、千三百年前の多度大社古文書や江戸時代の松平定信に由緒ある江戸と桑名を背景とした伝統の復興とともに、若い世代も親しみやすい運営に努めています。

多度雅楽会館主 田中 松緑
桑名市多度町生まれ在住
桑名高校、北海道大学卒業
桑名市文化協会会員
雅楽道友会を出身母体として
宮内庁楽師ほか多くの先生から
指導を受ける。



多度大社

多度大社は五世紀の後半、雄略天皇の御代に御社殿が建てられたとされ、それ以前は標高403メートルの多度山全体を神体山として仰がれていました。また御祭神が天照大御神の御子神である関係から伊勢の神宮に対し北伊勢神宮とも言われ、北伊勢地方の総氏神として崇められています。また、古くから「お伊勢参らばお多度もかけよ、お多度かけねば片参り」と謡われ、伊勢神宮の折には必ず参拝に訪れたことがうかがえます。

雅楽

日本の雅楽は、古来より宮廷で育成された正統な音楽という意味で、現在宮内庁楽部で演奏される伝統音楽の諸種目をさし、狭義にはそのうち中国、朝鮮より伝来した大陸系のものをさします。伊勢神宮や大阪の四天王寺など各地の社寺にも固有の伝承があります。雅楽に使われる楽器は、三管、三鼓、両絃の8種類あります。